

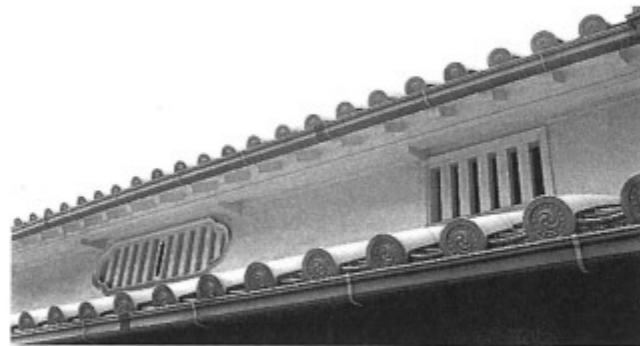
壁面

基準

元の壁面位置・意匠への復元を心がける。道路に面した町家や塀庭付戸建と、前庭付戸建のそれぞれの様式を保全する。やむを得ない場合には、伝統的なまちなみに配慮したものとする。

住吉の町家は、主屋が道路に直接面するタイプ（町家）、庭を設けて塀で囲っているタイプ（塀庭付戸建）、そして町家の前に開放的な前庭を設けているタイプ（前庭付戸建）があります。

このような様式をふまえつつ、伝統的な壁面の外観様式は、1階部分は漆喰塗りや縦羽目板、2階部分は白か黒の漆喰塗り仕上げを用いて、まちなかに豊かな表情を演出しています。



漆喰（しっくい）

漆喰は、消石灰と糊等をまぜてつくる伝統的左官材で、断熱性、調湿性にすぐれており、消臭効果もあります。壁面の強度にねばりがでて、構造が強くなります。産地によって自然材料がもつ色合いに特徴がでます。住吉ではかつて、鍍絵とよばれる漆喰彫刻がみられました。



町家



塀庭付戸建



前庭付戸建

●伝統的様式の特徴

- ・ 通風をよくするために開口部を大きく確保できるような構造となっている
- ・ 自然に湿度や温度を調節する機能がある塗壁を用いている
- ・ 土壁の傷みを防ぐために腰壁をつけている
- ・ 柱と漆喰、土壁や腰板で構成するデザインの美しさがみられる

開口部

基準

元の形状・意匠を尊重する。

1階部分については、伝統的な建具を尊重する。

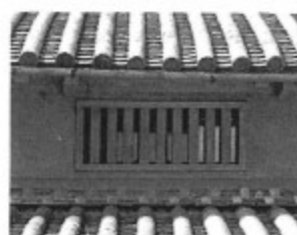
2階部分についても、伝統的な建具を用いる。

やむを得ずアルミサッシを用いる場合は、出格子や虫籠窓などの内側に入れたり、まちなみに調和する色調・意匠とする。

スチールシャッターなどの使用は避ける。

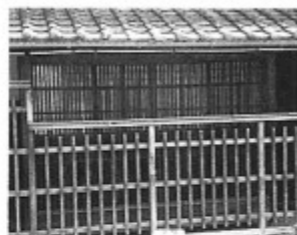
1階部分の格子や出格子と玄関の大戸や格子戸、2階部分の虫籠窓や格子付き窓など、伝統的な意匠が施されており、まちなみに暖かさや柔らかさを与えています。

また、様々なデザインが工夫されており、建物に陰影のある表情を作り出しています。



虫籠窓（むしこまど）

明かり取りと通風のために2階に設置された窓で、漆喰で塗り込めてデザインし、町家の特徴ある表情を創り出しています。



格子（こうし）

内と外で互いに人の気配を感じる間仕切りの知恵であり、細やかな表情を通りに与えるとともに、建物の内側にも柔らかな光が差し込み、機能とデザインが調和しています。



大戸・格子戸

（おおど・こうしど）

1階正面の玄関戸で、玄関先に柔らかな光を採り入れつつ、通りには細やかな表情を与えています。

軒下

基準

伝統的な床仕上（叩きや石敷）とする。軒下のしつらいについては、元の形状・意匠を尊重する。

伝統的な建物では、1階に庇がかけられており、ゆったりとした軒下空間が形成されています。軒下の床仕上げは叩きや石敷、また駒寄せや犬矢来を設けたものも見られます。

人間の視線に近い軒下空間に、細やかな伝統的意匠が施されていることでまちなみに豊かな表情を創り出しています。



駒寄せ（こまよせ）

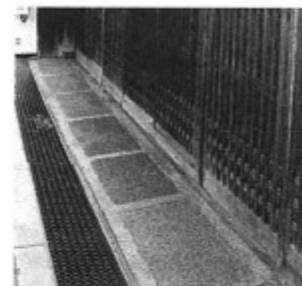
町家の道路側に面して設けられた格子状の垣で、軒下が人が入るのを防いだり、馬や牛をつなぐために設けられました。人の侵入などを防ぎながらも、光や人の気配を感じさせ、内と外とをやんわりとつなぎます。

犬矢来（いぬやらい）

塀や建物の腰を保護するために、竹などを曲げて設けられた囲いのことです。

●伝統的様式の土間仕上げ手法

仕上げ	特徴
叩き土間	地場の粘土と石灰、にがりの3つの材料を使い、コデで硬くなるまで叩き締めます。耐久性があり、にがりによって凍結を防ぎ、土の温かい風合が感じられます。近年は、コンクリート土間が経済的なので一般的ですが、目地をいれたり、洗い出しにするなどの工夫により、落ち着いた仕上がりにすることが可能です。
洗い出し土間	小砂利をセメントや石灰、顔料に混ぜ合わせて土間に塗り、硬まる前にブラシで砂利を露出させる方法です。骨材の質感と細やかでおもしろみのある表情が持ち味です。
石畳・瓦畳	石畳は自然石を敷き詰める舗装方法で、石の組み合わせや敷き方によって趣が異なります。瓦畳は敷き瓦で舗装する方法で、瓦の小口をみせたり、役瓦を用いるなど文様に特徴が出ます。



住吉に見られる石畳

塀・門

基準

塀庭付戸建の塀・門については、元の形態への復元を原則とする。

前庭付戸建については、塀・門を設置する場合には、まちなみに調和する意匠とする。

塀庭付戸建の塀や門は、和瓦葺き、漆喰塗、腰板などによる伝統的意匠となっており、美しく連続感のあるまちなみ景観を構成する重要な要素となっています。

●伝統的様式の塀

塀の種類	特徴
大和塀	板を縦長に交互に重ねあわせた板塀
練塀	瓦と粘土などを交互に積み重ねる塀
漆喰塗塀	土塀やコンクリートに漆喰を塗り上げた塀
格子	格子状に組まれた柵



住吉に見られる塀



住吉に見られる門

店舗等

基準

店舗等の改修は、まちなみに調和するものとし、原則として1階庇以下でおこなう。

外観は伝統的な様式を保ちながら、1階の庇以下を使って店舗づくりを行いましょう。昔ながらの様式に新たな店舗デザインが調和することで、個性的な魅力を引き出している建物が、近年多く見られます。



京都市の事例
伝統的な様式を継承しながら、新しくショーウィンドウに鉄骨が用いられています。